



佐土原ロータリークラブ週報



SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005-2006 年度 R I テーマ
【世界理解月間】

会 長：岩 切 正 司 幹 事：柳 田 光 寛
副 会 長：佐 藤 高 元 会報委員長：林 厚 雄
会 計：荒 武 義 博
事 務 局：〒880-0303 宮崎市佐土原町東上那珂 10255
TEL：0985-30-5766 FAX：0985-30-5788
携帯：090-2078-0483 斉藤美喜代

例 会 日：毎週水曜日

例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ

TEL：0985-73-0109

次週 3 月 1 日 プログラム予定 会員卓話

第 918 回 平成 18 年 2 月 22 日 (水)

本日のプログラム

- 1. 点 鐘
- 2. 「それでこそロータリー」
- 3. 会 長 の 時 間
- 4. 幹 事 報 告
- 5. 会 員 卓 話
- 6. 点 鐘

第 917 回の記録 平成 18 年 2 月 15 日

★ 会長の時間 会長 岩切正司 君

昭和 50 年前後から広まり始めた「義理チョコ」は、世界的に見ればものすごく珍しい風習だそうです。これはどう考えても、横並び意識が非常に強い日本的な「カイシャ」文化の人間関係と無関係ではなさそうです。

ところで一般にカイシャというところでは、優れた人材をどのように育成し活躍させるか、ということを考えている部署を「人事」と言い、優秀な一部の人材もそうでない大部分の人材も平等に、という発想で社内運営を考えている部署を「労務」と言います。したがってそれぞれの仕事の本質を一言でいうと、人事は「選別」、労務は「救済」（別の言い方では「福利厚生」とも言う）ということになります。

その意味では、本来のバレンタインデーというのは人事的な発想の風習なのです。なぜなら、もしバレンタインデーが「本命チョコ」だけなら、誰がもっとも「雄」として優れた個体か、ということが明らかになってしまからです。たいてい職場やクラスに一人くらいは、本命チョコが集中する男というのがいるものです。もし本命チョコだけなら、種としての保存本能からも、ほとんどが雄として優秀な一部の個体に集中するはずで、本命チョコがすべての男に平等に行き渡るなどということはありません（トホホ・・・）。

一方で、「義理チョコ」の風習は、労務的な発想だと言えるかもしれません。だって、本命くん以外でもみんな平等にもらえる義理チョコって、一種の福利厚生です

よね。

義理チョコ・マーケティング

友人の女性が昔「結婚」という制度についてこんなことを言っていました。彼女の主張によれば、一夫一妻制に基づく結婚の制度というのは、弱い男を救済するための福利厚生的な制度であり、自分はそんなひ弱な男の救済のために一生を棒に振るのはイヤだ。一人暮らしでもいいから、もっとも優秀で強い男の子種をもらって自分で育てたい・・・のだとか。もしかしたらジョディ・フォスターもこの意見に賛同してくれるかもしれません。

たしかにサル社会のような一夫多妻制の社会では、圧倒的に強いボスザルだけが、たくさんの妻を周囲にはべらせます。やがてボスザルは妻たちに自分の子供を身籠もらせ、メスザルたちはそれをボスザルに守られながら、集団の中で育てます。

種の保存のためには、もっとも優秀な血を残していけるこのようなやり方が、サルたちにとって明らかに最善策なのです。

これに比べると、どんな男でも必ず一人の女性とセットになれるという「結婚」なる制度を売りにして、ローマ帝国による厳しい弾圧の下で生き残り勢力の拡張を図ったキリスト教という組織は、人類という種全体の保存より自らのマーケティングを優先するという、本来生物にあるまじき選択を行った集団だったと言えるかもしれません。少なくとも種全体の生存のためにその一部分が集団自殺をするとされる、ある種のネズミやペンギンなどは、優先順位が逆転しています。でもそうだとするば、キリスト教の本来の考え方は、一人の優秀な強い男を選別するというよりは、どんな男でも平等に幸せになりましょうという義理チョコの発想に近いことになります。聖バレンタイン司祭が広めたかったのは、実は一人の男がチョコを総取りする本命型バレンタインデーではなく、みんなが平等に幸せになれる義理チョコ型バレンタインデーだったと思われます。

ということは、義理チョコという風習が広まり始めた昭和 50 年代以降の日本こそが、もしかすると、はるか昔にローマの地で無念の死を遂げた聖バレンタイン司祭の遺志を正しく受け継いだ世界で唯一の国なのかもしれません。最近の IT 系ベンチャー企業や、外資系企業などでは義理チョコの風習が廃れつつあるということも耳にしますが、1700 年前に聖バレンタイン司祭が命がけで点した灯を絶やさぬためにも、女性のみなさんは今後ぜひ積極的にどんどん義理チョコを配りましょう（？）

★幹事報告

柳田光寛 君

1. 例会変更なし
2. 鹿児島サザンウインドクラブ
創立 10 周年記念式典
3. 国際大会の案内が来ています。
4. 19日はサミットホールにてIMが開催されます。
出席予定者は16名ですが、欠席予定の方でも出席が可能になった場合は出席してください。
素晴らしい講演があります。
年に一度の勉強会です。

★会員卓話

中武幹雄 君

米山奨学会について

米山梅吉 1920年世界 855 番目のRC（東京）を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京RCの初代会長に就任し、1924年にはRIのスペシャル・コミッショナーになり、日本のロータリーの発展の基礎を築いてくれた偉大な人である。

静岡県駿東郡長泉町上土狩に財団法人米山梅吉記念館があり、その近くに墓所がある。

米山奨学金

日本の大学及び大学院に在籍している外国人留学生に奨学金を支給し、国際理解と親善に寄与することを目的としている。

1953年東京RCが創立者米山梅吉氏の功績を記念して創設した「米山基金」から発展して、1967年財団法人ロータリー米山記念奨学会となった。1997年現在で、基本金50億円、特別積立金35.6億円となり、執行機関は理事会で、文部省の管轄下にある。

寄付金には、普通寄付金と特別寄付金の二種類あり、寄付金は原則として全額を奨学金及び奨学関係費に充当し、事務経費は基本金と運用財産で賄われる。

1) 普通寄付金

全ロータリークラブ会員から、クラブ毎に会員一人につき年額 1,000 円以上を、定額で寄付される。

各クラブが任意に増額するので会員一人当たりの普通寄付額はクラブにより異なる。

普通寄付は、年額の半額を、それぞれ7月1日1月1日現在の会員数に応じて、半期ごとに米山奨学会へ送金される。

2) 特別寄付金

個人、クラブまたは法人として、普通寄付以外に随時、任意に寄付されるもので、この特別寄付に対しては、税法上の優遇措置を受ける認可を与えられている。なお、特別寄付は、ロータリアン、RC以外の個人、法人、団体からも受けられる。

3) 遺言寄付

2000年度からロータリアンの申し出による遺言寄付を受ける制度が設けられた。遺言寄付があった場合はその遺贈した財産は相続財産から控除される。

米山月間

毎年10月を「米山月間」と定めている。クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付を募る活動をする。そのために米山奨学生や地区役員・委員の卓話を聞き、更に奨学会から提供される資料をもとにクラブフォーラムを開催したりすることが推奨されている。



2月2日高鍋RC
の例会へ出席した。
米山奨学生の
デヴィさん



～ MENO ～

出席状況 第 914 回 平成 18 年 1 月 25 日

会 員 数	29 名	欠 席 者 数	7 名
出席者数	22 名	メイクアップ	1 名
出 席 率	75.0 %	修正出席率	79.0 %

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか